

【創刊特集】

『グローバルマネジメント』の 創刊に寄せて



長野県知事 阿部 守一

このたびは、『グローバルマネジメント』の創刊、誠におめでとうございます。

昨年4月、長野県立大学は、自ら考え、自ら学び、主体的に行動し、グローバルな視野で未来を切り拓き、地域を創生できるリーダーを育てることを使命として開学しました。長野県の「知の拠点」としての取組、ソーシャルイノベーションの創出など、地域の課題解決への貢献にも大きな期待が寄せられているところです。

超高齢化社会の到来や急激な人口減少、AI、IoT、ロボットなど、第4次産業革命とも呼ばれるテクノロジーの急速な発達など、私たちを取り巻く社会・経済環境は加速度的に変化しています。この大きな時代の転換点を迎え、人生を楽しみ、しあわせに暮らすことができる長野県を実現するには、人々が主体的に学び、社会を治めていくことにより、力を合わせて新たな社会の仕組みを創り上げていくことが重要です。

昨年4月にスタートさせた県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」では、本県に脈々と受け継がれてきた「学びと自治の力」を政策推進のエンジンとして、新しい時代にふさわしい県づくりを進めているところです。

多くの中山間地域を抱える本県は様々な課題を抱えておりますが、課題があるからこそ変化を起こし、イノベーションを起こして、新しい社会がつくられていきます。長野県立大学には、「学びと自治の力」の活性化、また、地域の様々な分野の方々の交流の場、結びつきの場としてその抱えている課題をブレイクスルーする役割を期待しております。

本誌『グローバルマネジメント』は、本県のシンクタンクとしての負託に応えるとともに、学術的な議論の進化と発展に寄与することを目的として、教員の研究成果を掲載するだけでなく、実務的・実学的な問題を広く取り上げるとお聞きしております。今後、『グローバルマネジメント』が、全国に誇れる学術誌として発展していくことを願っております。